

# JIA NAGANO- KEN CLUB

JIA 長野県クラブ

(社)日本建築家協会 関東甲信越支部 長野地域会

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/jia-naga@jeans.ocn.ne.jp>

Vol.87  
2010  
09.30

## 滅私奉公

夏のセミナーに参加し大勢の仲間にお会いすることができ、楽しいひとときが過ごせました。最近は、ほとんど参加者の最長老なのが残念ですが若い仲間に囲まれるのも、まんざら悪くありません。ありがとうございました。

さて、久し振りの原稿依頼で何を書こうか迷いましたが60代最後の近況をお伝えすることにしました。JIAの活動は相談役という立場で時々幹事会に出席したり、イベントに出でていただいたり、出版事業のお手伝いをしたり、年に一度の全国大会に参加したりといったところで一時の多忙を思うとまあ、自由気まで申し訳ないくらいです。さぞかし仕事に熱が入っているだろうと思われる方が少なくないと思われますが、おっとどっこいそろは問屋が卸しません。実は、皆さんの中にも同じような立場の方がいらっしゃるかと思いますが、昨年から地元の区長(地域づくり委員長)という役職を務める破目になってしまいました。今までには、お恥ずかしいことながら地元のことと、子供たちの学校のことは一切家内に押し付け任せっぱなしで過ごしてきてしまいました。選挙で選ばれたので逃げるわけにもいかず、現役の設計活動との両立で苦しむことになりました。会議、様々な行事、草刈りや山作業、相談事などなど一年のうちに約200日を費やす忙しさです。雨や風が吹けば災害にならないか? 救急車が近くを通ればどこのだれだろう? 消防車のサイレンが鳴れば自分の



まち並みウォッチング



夏のセミナー



雑学講座

管内でなければよいが…(管内や近火であればすぐ駆けつけて指揮をとらなければなりません)といった具合で気が抜けません。

しかし、この大役をお受けしてみて今までの自分がいかに地域にお世話になり、生かされてきたのかということを思い知らされることとなりました。真冬の火災現場で命がけで朝までずぶぬれになって活動するほとんどボランティアの若者たち、地域の縁の下の力持ちとしていやな顔も見せずに頑張る地域づくり委員会の面々、遅くなって36才で私が帰郷するまで今は亡き両親はこんな人たちに支えられていたのかと思うと手抜きはできなくなりました。自分の好きなことをやるだけでは半人前ではなかったか? 残り6ヶ月の2年任期を地域のために精一杯務めようと思っています。

社会を相手に建築家一人では何も貢献できません。JIAはそのためにこそあります。顔を見ても分からないほど、JIA長野県クラブは若返りました。素晴らしいことです。身を粉にして頑張っていられる赤羽会長とそれを支えるリーダー達がいます。しかし、なかには入会だけしておまかせ会員や建築家の名前欲しさだけの会員がいるかも知れません。JIAは社会のために行動する者にとって与えられる称号であって欲しいものです。みんな頑張れ!!

## 夏のセミナー

7月31日(土)に「夏のセミナー」が開催されました。「技術交流会」：賛助会員の(有)泰成電機工業の2重床の技術的な話や事例などの発表。「基調講演」：根羽村森林組合から、根羽林業の取り組みについて話。「テーマセッション：木に学ぶ」長野県林務部信州の木振興課県産振興係長 丸山氏から、国や県の木材需給の動向、木材・建築部材の利用動向、県産材住宅に関する助成措置等についてお話をいただき、ナチュラルウッド・サンスプレー・ランバー

テック・日本エンバイロケミカルズ・日本オスモの各賛助会員から地域材への思いや製品開発について、また自社業務の紹介等をお話いただきました。その後“山とユーザーをつなぐ”をテーマに活発な意見交換が行われました。「テーマセッション：出版について」：清水出版委員長から「信州の建築家とつくる家第7集」の発刊に向けた経過報告が行われ、メインテーマについて話し合いました。また今後のスケジュールについて報告がありました。



### 「夏のセミナー」技術交流会・基調講演に参加して

今年もJIA長野県クラブ恒例の夏のセミナーが7月31日、崖の湯温泉茜宿で開催されました。基調講演では根羽村森林組合の方に、根羽村の林業への取り組みについて、過去から現在そして未来への展望の講演をいただきました。根羽村は古くから村の行政が推進役となって杉の造林に取り組み、現在森林率92%・人工林率72%を誇る全国でもまれにみる林業先進地であること。そして根羽村森林組合が中心となって、間伐や作業路の整備また製材技術や製品品質の向上そして販路の開拓など、官民一体で林業に取り組んでいる様子をご説明いただきました。その後のパネルディスカッションでは、「木に学ぶ」というタイトルで、パネラーとして長野県林務部の方に、長野県における林業の現状や、間伐材を利用しての構造用合板な

どの説明。またパネラーとして参加いただいた賛助会の方々には、木に対する想いや考え方、また日々の活動等のお話のなかで木材の材種による長所や短所、また塗装や人工乾燥などで木を永く使うための技術などの説明をいただきました。私はJIA長野県クラブの正会員・賛助会員がともに協力しながら県産材の利用を高めてゆく努力が必要であり、その為には県産材のことをより深く理解することで、ただ闇雲に使うのではなく適材適所を見極め永く使い続けていける建築を設計することが、これから社会で求められているであろう持続可能な環境との共生社会を実現する為の一つではないかと思いました。

### テーマセッション「木に学ぶ」

正会員、賛助会員の垣根を越えて建築を通じた会員同士の交流を活性化していく事を目的として、従来行われてきた技術交流会に加えて、新たな企画としてテーマセッション「木に学ぶ」と題して車座交流会を行いました。メインテーマは「山とユーザーをつなぐ」誰がどの部分で責任を分担するのか?として、山から実際の建築になるまでの流れを追って、行政と正会員、賛助会員の対等な協力と責任分担によって地域材のより良い使い勝手を探ろうというものです。

基調講演として根羽村森林組合の鈴木さん、今村さんによる林業立村を目指した村の取り組みの発表。それを受け、長野県林務部信州の木振興課県産材振興係長の丸山勝規さんより長野県の取り組みを話していただきました。特に県内の山の現状と出荷状況や信州環の住まい助成金の申請状況等、具体的な数値を

新井 優

示していただき今の状況がどのようにになっているのかわかりやすく説明していただきました。ナチュラルウッドの南波さんの乾燥方法が確立されていなかった頃の木材製品に疑問を持ち、品質の確保を追求し都市圏への独自ルートによる流通を確立した経験談や、サンスプレー平坂さんより長持ちする木材保護塗料と自社業務の紹介。その他ランバーテック丸山さん、日本エンバイロケミカルズ小林さん、日本オスモ西村さん、泰成電機工業、根羽村森林組合さんが意見発表していただきました。その後フリートークを行い、現状の問題点に対する厳しい質問も出され活発な意見交換がされました。この意見交換を通じて、木についてのいろいろなことを考えるよい機会になり、また、賛助会員の方々の高い専門性に学びながら疑問点をぶつけ合える有意義な会になったと思います。

### 「信州の建築家とつくる家」第7集の発刊に向けて

清水 国寿

第7集の発刊に向けて夏のセミナーで大きな区切りを迎える。新しい出版委員会が発足して2ヶ月半足らずですが、その間に6回の委員会を重ね今年の出版のあり方を根本から議論してきました。また、全正会員、賛助会員に対してアンケートを行い、出版内容等の意見聴取に努めてまいりました。

その中で思うことは、出版事業という一つのことを積み重ねることの大切さ、重要性です。第6集までの進化発展の様子は各号を手に取るとよくわかります。出版のプロではない長野県クラブの仲間たちがプロの手助けを受けながらも、ここまで出版の質を向上させたことは目を見張るものがあり、それを会員のほとんどが認めていることはアンケート結果にも表れています。会員の常に前に進もうとする姿勢と、土台

となるこれまでの積み重ねの大きさに支えられての今年の出版事業であることを改めて感じています。

今年の出版の特徴としては、本全体を貫く一つの大きなテーマを持ち、出版物全体としてそのメインテーマを社会に問うていいこうというものです。これは第6集ですでに芽生え始めていた特集から個人ページへのテーマの流れを踏襲し、さらに強化発展させようとするものです。このメインテーマを「まわりのコト」としました。建築を取り巻く身近な環境について、普段我々建築家が考えていること、建築家でしか思いつかないことなどを個人作品とともに出版を通して発信し、社会の中で建築家の存在をより大きなものにしていくことができればと思っています。

## まち並みウォッチングに参加して

市川 英一

8月28日に第一回目のまち並みウォッチングが長野市で開催されました。

午前中に本年度末で閉館予定の「長野市民会館」を観て、午後は善光寺界隈での古い建物の再利用の状況を見学するという内容です。今回は、他団体との交流の一環から「信州名匠会」の研修会と合わせて企画されたそうで、長野市民会館には30名以上が集まりました。おかげで、設計の立場と異なる視点での感想を聞く事ができ参考になりました。今後もこうしたかたちでの開催を続けていただきたいと思います。

長野市民会館は、佐藤武夫氏の設計で昭和36年に完成し50歳を迎えるとしている、固定席1800席を有するプロセニアム型の多目的ホールです。特徴は、ホールを覆う30mスパンのV字梁(RC造の折板)、西日除けの色ガラス入りPCブロック壁、信越線からの遮音のためのRCの外側にレンガを積んだダブルウォールの3つのこと。確かに、端正でシンプルなプロポーションでありながら、ダイナミックさと繊細さとマッスルを同時に感じます。ホールや舞台だけでなく楽屋から調整室、機械室まで見学する事ができました。閉館の主な理由は耐震性の他に、側舞台の広さやバトンの吊り上げ能力が現在の演劇の要求に合わなくなっているとのことです。市民会館は、閉館までホールでのイベントが行われていない時は一般公開しているそうです。ホワイエには当時の設計図や写真が展示されていますし、夕方5時から7時には色ガラスを通した西日を覗ながらカフェでピールも飲めるそうです。今回のウォッチング

に参加できなかった方も、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

午後は、古い土蔵と倉庫をデザイナーの拠点として再利用している「KANEMATSU」に集合しました。「KANEMATSU」は広瀬さんはじめ、7人の仲間による「bonnecura」という組織で運営されており、広瀬建築設計室他2つの設計事務所、グラフィックデザイン事務所、フリーライターの事務所が入っています。現在に至る頃末は、「借り手探しを依頼されたのだが、自分たちで借りてしまった。」ということのようです。メンバーの一人である宮本さんの「まちづくりについて、住民とコンサルタントの間に何か解け合わないものを感じていた。自分が住民になってしまえば、別な展開ができるのではないかと思う。」というのが本当の理由なのでしょう。

その後、広瀬さんの案内で使われなくなった土蔵や住宅をギャラリーや店舗として再使用している例を案内していただきました。いずれも大きな改修をせずに使い続けていることに好感を持ちました。ウォッチングで歩いた1間ほど幅の路地は、大通りに比べて車の騒音も無く、心地良い空間だと改めて感じました。ただ、所々建物が建て替わった部分だけ道路後退により道幅が広くなっているのが不自然であり、まちが傷ついているように感じます。やがて、全部建て替わると路地が無くなり、まち並みが壊していくのでしょうか…。

今回は、古い建物の利用について考えさせられました。企画いただきました関係者に感謝いたします。

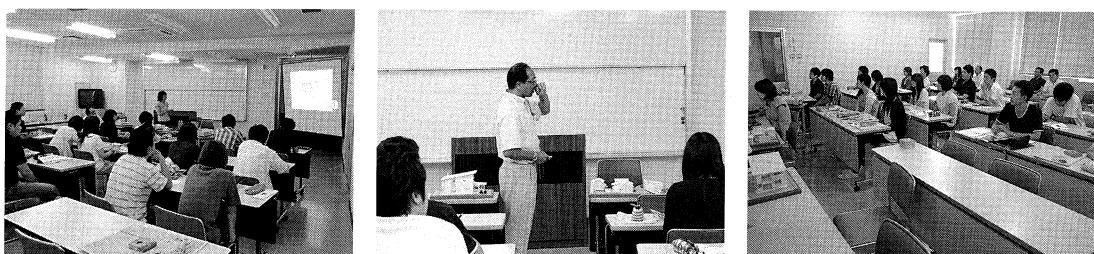


## 上田情報ビジネス専門学校雑学講座

勝山 敏雄

学生の将来の夢や目標をイメージさせることで学生を刺激し、希望を与え、社会性を身につけ、学習意欲を向上させる一つのきっかけとし、学生のレベルアップを図る目的で行われている雑学講座。今回の講師は丸山幸弘さんにお願いしました。初めにちょっとした実験を行いました。栗の木に鉄工所の鉄の粉で模様をつけ、そのまま2~3時間置いておく実験です。講義終了ころには実験の結果が出るというものでした。その後、「もののとらえ方」ということで事前に学生さんに自分の好きな建物、場所、風景等を写真に撮ってるように宿題を出しておきました。ひとりひとりにその写真を発表してもらいました。写真のタイトルやなぜその写真を撮ったのか、写真を撮るときに感じたことなどを説明してもらいました。その写真はテーマが何で何を意図してどんなことに感動して写真という一枚の絵を描いているのかを考える授業でした。自分の考えをいろいろまとめていくことの重要性、様々なテーマを推し進

め、見る目を養って自分の考えを深めていくことを学んだような気がします。後半は丸山さんの現場の写真を見せてもらい、丸山さんの仕事の話を聞きました。そこで、普段からいろいろなことに興味を持って、自分で考えたことを引き出しに詰めていくことが大切であることを話されました。たとえば、「木材が好き」であれば木材のことを調べる。檜も名前が同じでも上伊那の檜と木曽の檜は違う性質を持っている。一つの興味をより深くしていくことで、引き出しの中身が充実していき、深みを増していく。実験の結果は栗の木に黒く模様がつきました。なぜ黒くなるのかを調べると鉄と栗の木に含まれるタンニンが化学反応を起こしていることがわかります。設計をしていく中でこのようなことが重要で、一つの形にしても、単純に形ではなくいろいろなことを考え、なぜそののかを一つ一つ積み上げてデザインをしていくことの重要性を知られた講義でした。



## JIAリフレッシュセミナーに参加してきました

広瀬 翔

3月はじめ3日間にわたり、熱海リフレッシュセンターでJIAリフレッシュセミナーに参加してきました。全国から集まった若手(?)会員の啓発、親睦を目的としたセミナーです。まず山下博さん、馬場正尊さんにゲスト講師として講演していただきました。方法こそ大きく違いますが、お二方とも従来の建築家の役割にとらわれることなく、社会的テーマを持って取り組まれておられます。山下さんは熱く情熱的に、馬場さんは情熱を秘めてクールに語られておりましたが、それぞれ新しい領域に分け入って活動を続けるには、並々ならぬ行動力が必要だと感じました。

講演のあとはグループに分かれてセッション、そして最終日の発表。建築家がどのように社会に接点を持ち、より広く認知され活動の場を広げていくか…なかなか理屈通りにはいかないとは思いますが、それぞれユニークな提案をされていました。私たちのグループは手前味噌ですが、今自分の事務所のある門前の工場跡、そこを

ベースにして建築家としてのあり方を考えていくという発表をしました。

今回のセミナーは、古谷誠章さん、渡辺真理さんはじめ横河健さん、篠原聰子さんといった今の建築界を代表する建築家の方々のお話を直接お聞きすることができます、とても得がたい経験をさせていただきました。また、深夜まで酒を酌み交わしつつ、これから建築家のあり方について、様々な地方から集まった同士と語り合うことができたことも楽しく、有意義な時間でした。

地方から集まった建築家はそれぞれの場所でアクティビティに活動を続ける面々です。これを機会に連携をとりながら、新たな展開につなげられればと考えています。このセミナーはここ何年か行われていなかったそうで、8年ぶりの復活だそうです。教育研修委員の皆さんや事務局のご苦労は並々ならぬものと思いますが、ここで得られたものを考えると是非今後も続けていただきたい活動だと思います。

# 賛助会だより

## 人と環境を原点に「良い仕事・多くの仕事で日本一を」

弊社は創業以来、常に時代のニーズに応えて進化する姿勢のもと、近代的な経営と先進の技術・優れた人材の育成を図ってまいりました。あらゆる建物の内装・防水施工などトータルにお引受けする建築仕上げ工事分野の専門企業として、さらにビルメンテナンス事業においては各自治体・各種公共施設・オフィスビル等の管理業務に携わっております。また、環境整備への関心が高まる中で、住宅からビル・工場・官公庁施設などのリフォーム・リフレッシュ工事にも業務を拡大しております。

(株)岩野商会 戸谷 州宏

「人」がすべての専門家集団として常に高度な技術と知識を集積し時代を担う人材の育成にも力を注いでおります。職業訓練法人「岩野建設専門技能訓練学園」を開設し、社員の技術・技能を高めていることもその一環です。人と環境を原点に真にお客様の快適な環境づくりに貢献する事業を追求し皆様からの信頼にお応えできますよう、さらなる向上に努めてまいります。

〒381-8502 長野市大字北長池2051 TEL 026-263-7000 FAX 026-263-7004

## 株式会社角藤 長澤 和芳

### 支える仕事 角藤の力!!

私共の会社は、長野市篠ノ井で昭和8年農業用金物の販売として、創業致しました。現在の事業内容は、(1)鉄骨工事[鉄骨工事・橋梁工事]、(2)基礎工事[建築基礎工事・土木基礎工事]、(3)外装工事[金属系建材工事・塗装系建材工事]の3本柱を中心、関連会社を含め、1都10県の事業ネットワークで、営業展開をしております。

(1)鉄骨工事…本社工場は、H19年にSグレード認定取得し、実は県外で、結構大きな仕事をやらせて頂いております。シャープの工場[亀山工場・堺工場]等。(2)基礎工事…

建築・土木共、完成後は、地中に隠れてしまい理解されづらい仕事ですが、自社機械で災害対策工事・高速道路法面工事等社会貢献させて頂いております。(3)外装工事…建物の壁・天井・屋根工事、これも完成すると、風景の中に溶け込んで意識して見る事は、中々出来ないでしょう。角藤の仕事は、多くの人の暮らしの幸せ・安心・快適さを長い年月に渡って、支え続けています。これからも…そんな技術集団・挑戦し続けている会社です。これからも宜しく御願い致します。

〒380-0811 長野市東鶴賀町60 TEL 026-233-0101 FAX 026-233-0106

## 環境技術で屋根の未来を拓く

当社は創業以来45年にわたり、金属屋根のパイオニアとして独自の技術開発をもとに他社製品との差別化を図り、平成20年3月末現在において累計特許出願1157件、累計実用新案出願217件と「技術の元祖」の地位を固めてまいりました。その特許技術をベースに、高い防水性・耐風圧性・断熱性を有する高機能の金属屋根システムを開発し、公共施設をはじめ、工場・店舗・住宅等に幅広く採用されております。また、環境建材にも積極的に取

## 元旦ビューティ工業株式会社 甲信営業所 保坂 孝夫

り組み、「新エネルギーは屋根から」をコンセプトに太陽光発電屋根も20年にわたる実績と技術の蓄積があります。自然採光で省エネを推進するトップライトや緑化屋根、建物の断熱性能を高める外断熱を包括的に取り組むことにより、屋根の総合プロデューサーとして快適な建物づくりをお手伝いすると共に、豊かな地球を未来に残すべく環境貢献に邁進いたします。

〒408-0015 山梨県北杜市高根町下黒沢2077-1 TEL (0551)47-4321 FAX (0551)47-4329

## レンガ・タイルの注文製作で新たな表現をご提案します。

(株)国代耐火工業所

当社は注文製作を中心に、外壁や床のレンガ・タイルを販売しております。公共施設・住宅・商業施設など様々な用途の建物に使用されご好評頂いております。窯業の世界も工業製品の持つ均一的表現が主流となっておりますがその中にあって出来る限り焼き物の表

情を活かした製品作りに努めています。最近ではティンバーブリック(長尺中空レンガ)という乾式レンガの開発・製作にも力を入れ古典的な表情と新しい工法を組み合わせる事で新たな表現を生み出しています。ホームページがリニューアルされましたのでご覧下さい。

【アドレス】[www.agorabrix.co.jp](http://www.agorabrix.co.jp)

【東京支店】〒106-0045 東京都港区麻布十番2-14-11 TEL 03-5484-9 担当:安田

【名古屋支店】〒489-0061 愛知県瀬戸市上本町496 TEL 0561-48-1171 担当:熊谷

## 自然・環境・健康に配慮した塗料、木材、塗壁材を提供していきます

## 株式会社 コーティングコーポレーション 佐藤 隆志

高度経済成長以降、便利さを追求し将来的にゴミになるもの、VOC等の有害な材料を使用することによりシックハウス症候群など、いろいろと便利さの裏側で弊害が生じました。影響で塗装業界も新築の場合全体予算の1%以下にまでのシェアが下がり、みな塗替工事のほうへシフトしました。これでは今までの塗装・左官の技術を継承してゆくことも妨げられ(大工さん、道具さんも同じと思いますが)衰退の一途を辿ることとなります。そんな時

(15年前から)にフッコ・オスモ社・木童等との出会いがありました。自然なものと新しい技術の融合した新湿式工法、塗料塗りの下地である材木などを我々がPRして、長所短所を的確に説明・施工し、全体でのシェアを3%、5%と増やすことによりボリュームを以前に近いくらいに上げてゆき、業界・社会に貢献してゆきたいと日々努力・勉強しています。

長野市金井田66番地 TEL 026-261-1717 FAX 026-261-1718

## 様々な空間をデザインする間仕切りの総合メーカー

## 小松オール工業株式会社 長野支店 米田 満

移動間仕切は、業界トップシェアを誇るホテル宴会場や美術館展示室の大型の製品から、会議室や多目的室などを間仕切る小型のものまで幅広く展開しております。

その他、福祉施設や病院等に多いパリアフリー対応の鋼製軽量建具や豊富なエッジタイプと表面材を用いたトイプレース、スチール・アルミ・木製の3タイプからなる学校用間仕切など様々な用途や御利用条件・デザインに対応した製品をご用意しております。

自由なレイアウトを可能にするパーテーションは、マイティーシリーズ(スチール製)とナックシリーズ(アルミ製)の2タイプを展開しており、取付け可能なドアのバリエーションも開き戸・ハンガー戸・折戸など豊富に取り揃えております。

皆様の御手伝いが出来るように日々精進して参りますので、ご相談・ご要望等何なりと申し付けて頂ければ幸いと存じます。今後とも宜しくお願いします

〒399-0034 長野県松本市野溝東1丁目16-22 TEL 0263-26-8733

## ■今後の行事予定

- 10月 4日(月) …… 会員の集い
- 10月 7日(木) ~ 9日(土) JIA全国大会2010九州
- 10月23日(土) …… まち並みウォッチング in 軽井沢
- 12月 4日(土) …… 冬のセミナー
- 12月中旬……………上田情報ビジネス専門学校雑学講座

## ■新入賛助会員のお知らせ

(有)アルベロ

<http://www.albero-eco.com>

〒399-8205 安曇野市豊科4770 TEL 0263-72-4799

〈担当者〉丸山雅秋

## ■お知らせ

「信州の建築家とくる家 第7集」が12月初旬発刊に向け、編集作業も大詰めに入っています。第7集のメインテーマは「まわりのコト」。内容も充実しています。乞うご期待。

編集後記

猛烈に暑かった夏がいつの間にか去り、急に涼しくなりました。この時期はいろいろな行事が目白押しです。何かといろいろな人と出会う場面もあり、ただ参加するだけではなく、そういった機会を逃さず活かすことによって、幅を広げていくよい時期だと思います。

勝山 敏雄

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集人／勝山敏雄 発行所／JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 TEL : 026-232-3897 FAX : 026-232-5303  
発行人／赤羽吉人 URL <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/> E-mail [jia-naga@jeans.ocn.ne.jp](mailto:jia-naga@jeans.ocn.ne.jp)